



Point

# 良食味米生産への第一歩！ 適切な種子予措に努めましょう



男鹿地区営農センター 目黒 竜平

## ●「ばか苗病」対策のため衛生面を整えましょう

作業を行う場所には、昨年に発生した「ばか苗病」の原因菌が付着していたり、粃殻などが伝染源になったりする可能性があります。作業場所やその周辺、使用機器や容器などを十分に清掃してから、今年の作業を始めましょう。



## ●浸種方法

異なる品種の種子は、必ず別々の容器で浸種や催芽をします。

- 水の量** 種子10kgにつき水35ℓが目安です。
- 浸種水温・期間** 水温10～15℃で6日間程度です。  
水温が低いと消毒効果が劣り、発芽のばらつきも大きくなります。  
※浸種を始める際は、お湯を使って15℃の水を作るように調整します。  
※浸種する容器に必ずふたをして保温し、容器に病原菌が入らないようにしましょう。
- 水交換** 種子の呼吸や消毒効果を考慮して、1回目は浸種開始から**48時間後**、交換回数は期間中**2回程度**にします。

無消毒種子の場合は塩水選、種子消毒を行い、昨年にばか苗病やもみ枯細菌病が発生した場合は、必ず苗箱消毒を行ってください。

|      |             |                                 |                        |
|------|-------------|---------------------------------|------------------------|
| 種子消毒 | ヘルシード乳剤     | ばか苗病・ごま葉枯病・いもち病                 | 200倍 / 24時間種子浸種        |
|      | スターナ水和剤     | 苗立枯病・もみ枯細菌苗                     | 200倍 / 24時間種子浸種        |
|      | テクリードCフロアブル | ばか苗病・ごま葉枯病・いもち病・<br>苗立枯病・もみ枯細菌苗 | 200倍 / 24時間種子浸種        |
| 苗箱消毒 | イチバン        | 多くの菌に効果(特にリゾープス属菌)              | 500～1,000倍 / 瞬時浸漬または散布 |

## ●催芽作業のポイント

催芽前に**36～40℃**程度のお湯に、必ず湯通しします。

- 催芽適温** 高すぎると細菌病に、低すぎるとばか苗病のもとになるため、**30～32℃**で行いましょう。
- 催芽時間** **約19～25時間**が目安です。  
品種によって催芽時間が異なるため、他の品種と同時に処理しないようにしましょう。
- 催芽状況** 白い角が見えるくらいで、**2～3mm**程度しっかりと芽出しをします。  
種子袋の中まで必ず確認し、ムラがないように心掛けましょう。

## ●床土準備

| 箱数  | 床土量   | 肥料    |            | 保肥・保水 |       | タチガレエースM粉剤 |
|-----|-------|-------|------------|-------|-------|------------|
|     |       | 稚苗用2号 | 新ロング入り育苗専用 | ゼオライト | ハイフミン |            |
| 1箱  | 約3.6ℓ | 40g   | 70g        | 180g  | 200g  | 8g         |
| 10箱 | 約36ℓ  | 400g  | 700g       | 1.8kg | 2kg   | 80g        |
| 30箱 | 約110ℓ | 1.2kg | 2.1kg      | 5.4kg | 6kg   | 240g       |

※床土混和できない箱施用剤があるため、使用方法を必ず確認してください。